

週刊アフリカビジネス第 499 号

2020/6/8 発行

AFRICA BUSINESS PARTNERS

アフリカビジネスパートナーズ (ABP)

目次

【今週のニュース 20 本】	3
(1) 【アンゴラ】中国からの債務額がアフリカ最大のアンゴラが、返済条件交渉を目的に中国への原油輸出量を削減(6/5)	3
(2) 【ケニア】ケニアの GDP がアンゴラを超えサブサハラアフリカ第 3 位に(6/5)	3
(3) 【ケニア】ケニアとナイジェリアが新たにオンライン税の導入を検討。Uber や Netflix、Google、Amazon や Facebook、Twitter が対象(6/1)	4
(4) 【南アフリカ】警戒レベル 3 へと移行した南アフリカ、製造業景況感指数が 10 カ月ぶりに 50 を上回る(6/1)	4
(5) 【南アフリカ】フォードが南アフリカで新型車両の生産開始を準備、現地部品メーカー Metair が大型契約を獲得(6/5)	5
(6) 【エジプト】サムスン電子がエジプトに 8,400 万ドルを投資へ、パソコンや TV スクリーンの生産・輸出拠点に(6/1)	6
(7) 【ナイジェリア】Harambe Entrepreneur Alliance が 100 万ドルを調達し、10 万ドルをナイジェリアのバイク配車アプリ Max.ng と農業プラットフォーム Releaf Group に出資(6/3)	6
(8) 【エジプト】UAE の Gulf Capital が画像診断会社 Metamed を競合の Ray Lab に売却、一大画像診断プラットフォームが誕生(6/2)	7
(9) 【モロッコ】モロッコ通信会社 Maroc Telecom がモバイル送金アプリ MT Cash をリリース(6/1)	7
(10) 【ナイジェリア】アフリカの e コマース会社 Jumia が、Jumia Prime 会員拡大を目指し米マスターカードやナイジェリア映画専用の有料配信サービス IrokoTv と提携(6/5)	8
(11) 【アフリカ全般】サブサハラアフリカの観光・ホスピタリティ事業への投資に特化した Kasada Capital Management によるファンドが 5 億ドルの出資を得て調達を完了(5/21)	8
(12) 【ザンビア】ザンビアの種苗メーカー Zamseed が農業投資会社、英 SilverStreet Capital から 9,100 万ザンビアクワチャ調達(6/4)	9
(13) 【ウガンダ】ウガンダの種子メーカー NASECO が投資ファンド Pearl Capital Partners から 46 億ウガンダシリングを調達(5/29)	9
(14) 【エチオピア】エチオピアのフードデリバリースタートアップ Deliver Addis が Impact Angel Network および RENEW から追加投資を調達(5/25)	10

(15)	【エチオピア】エチオピアの大手飲料メーカーAbebe Dinku Water & Non-Alcoholic Beverages がサウジアラビアの Al Naba Jeldi Water Company と今後 20 年間のボトル入り飲料水輸出契約を締結 (5/31)	10
(16)	【南アフリカ】南ア e ヘルススタートアップ BusyMed がベンチャーキャピタル LionPride Agility Fund から資金調達 (6/2)	11
(17)	【ルワンダ、南アフリカ】南アの低価格ヘルスケアサービスの RH Bophelo がルワンダ証券取引所へ重複上場 (6/1)	11
(18)	【ウガンダ】ウガンダのフィンテックスタートアップ Eversend がエクイティクラウドファンディングプラットフォーム Seedrs で 63 万 4,000 ユーロを調達 (6/2)	11
(19)	【アフリカ全般】衛星通信プロバイダの Gilat Telecom が VSAT サービスのアフリカ全土への提供を開始 (6/5)	12
(20)	【南アフリカ】南アフリカの金融会社 Finbond Group が短中期的戦略として南アフリカ事業の売却を検討(6/2)	12

【今週のニュース 20 本】

英語、仏語を中心としたアフリカの約 200 のニュースメディアから、前週に報じられた重要かつ日本企業にとって有益なビジネスニュースを 20 本取り上げ、日本語に要約して配信します。

- ・ニュースソースの URL は、ソース先の都合により削除されることがあります。
- ・ドル、ユーロ、ポンド以外の通貨については、要約時点のレートで換算した日本円をカッコ内に記載しています。換算レート及び換算金額ともに、有効数字 2 桁(3 桁目以降切捨て)を使用しています。

(1) 【アンゴラ】中国からの債務額がアフリカ最大のアンゴラが、返済条件交渉を目的に中国への原油輸出量を削減(6/5)

<https://www.reuters.com/article/us-angola-china-debt-oil-exclusive/exclusive-angola-cuts-oil-shipments-to-china-as-it-seeks-debt-relief-idUSKBN23C1LY>

アンゴラ政府は、中国との債務返済条件に関する交渉を再開させる目的で、国営企業向けの原油輸出量を削減したという。アンゴラは債務を原油で返済している。通常は、毎月 7~8 カーゴを輸出し、Sinochem が 5 カーゴ、Sinopec 傘下の Unipecc が 2~3 カーゴを返済として受け取るが、Unipecc への返済分が輸出されていない。

アンゴラはすでに G20 の債務返済猶予イニシアティブへの要請を行っている。あわせて原油の輸出先となる国々とも返済条件の変更に関する協議を行っているものの、話はまとまっていない。

コロナウイルスの感染拡大による世界経済の急速な減速により、原油価格は大きく下落した。アンゴラは国家歳入の 3 分の 1 を石油から得ているため、大きな影響を受けている。同国の最大の債権国は中国で、200 億ドルを超える二国間債務が存在する。債務を完済するか、枯渇した財源を確保するかの二者択一を迫られる状況となっている。

アンゴラは、IMF からは 2019 年に 37 億ドルの融資を確保し、国営石油会社の Sonagol も 2018 年末~2019 年半ばにかけて IMF から 25 億ドルの融資を受けている。

中国外務大臣は、アンゴラとの間で債務救済に関して協議を開始していると述べている。

(2) 【ケニア】ケニアの GDP がアンゴラを超えサブサハラアフリカ第 3 位に(6/5)

<https://www.bloomberg.com/news/articles/2020-06-05/kenya-tops-angola-as-sub-saharan-africa-s-no-3-economy-chart>

<https://www.businessdailyafrica.com/economy/Kenya-overtakes-Angola-as-third-largest-economy/3946234-5571578-ag2ukp/index.html>

IMF が発表した新たな経済予測において、サブサハラアフリカにおけるドル建ての GDP 総額でケニアがアンゴラを超えて第 3 位の国となったことが明らかになった。これまでは、ナイジェリア、南アフリカ、アンゴラが上位 3 カ国で、ケニアはそれに続いていた。

アンゴラは 2016 年以来、原油輸出量の減少により GDP が減少している上、通貨クワンザの切り下げを行っている。2020 年の GDP 成長率は、アンゴラがマイナス 1.4%と予想されており、一方でケニアは 1%成長と予想されている。

(3) 【ケニア】ケニアとナイジェリアが新たにオンライン税の導入を検討。Uber や Netflix、Google、Amazon や Facebook、Twitter が対象(6/1)

<https://www.bloomberg.com/news/articles/2020-06-01/google-netflix-uber-to-pay-tax-for-kenya-market-in-planned-law>

<https://punchng.com/fg-plans-to-tax-netflix-facebook-others/>

ケニア政府がオンライン税の導入を検討しており、対象はタクシー配車アプリやストリーミングサイト、定期購読型のデジタル新聞などであることが明らかになった。2020 年予算案において、オンラインでの決済額に対し 1.5%を課税するとして提出されており、それに基づくと Uber Technology や Google の親会社 Alphabet、Netflix といった企業が課税の対象となる。

対象には、ダウンロード可能なデジタルコンテンツや検索エンジンサービス、定期購読型のニュース、ストリーミング配信のショーや音楽、タクシー配車プラットフォーム、ウェブホスティングサービス、およびケニアの税務当局によって決定されたその他のマーケットプレイスが含まれる。

また、ナイジェリアもケニアに次いで、ナイジェリアにサービスを提供し、現地通貨ナイラで売上を上げている外資のデジタルサービスプロバイダーに対する「オンライン税」の課税を計画している。

ビデオストリーミング、ソーシャルメディアプラットフォーム、デジタルコンテンツのダウンロード、サービスによるデータ収集、商品やサービスのデジタルプラットフォームを通じた提供を行うサービスが対象で、Netflix、Facebook、Twitter、アリババ、アマゾンなどが対象となると見られる。ただし、年間 2,500 万ナイラ(1,200 万円)を売り上げ、ナイジェリアのドメインを持つか、ウェブサイトのナイジェリアで登録している企業に支払い義務が発生することになる見込み。

※1 ナイラ=0.2 円(モーニングスター、6/6)

(4) 【南アフリカ】警戒レベル 3 へと移行した南アフリカ、製造業景況感指数が 10 カ月ぶりに 50 を上回る(6/1)

<https://www.bloomberg.com/news/articles/2020-06-01/s-africa-s-partial-easing-of->

[lockdown-helps-pmi-over-50-in-may](#)

南アフリカはロックダウンが緩和されたことにより、5月の製造業景況感指数が10カ月ぶりに50を上回った。銀行大手 Absa Group の5月の購買担当者景気指数 (PMI) は、4月の46.1から50.2に上昇した。一方、ブルームバーグによるエコノミスト5人の景気予想中央値は46.5だった。指数が50を超えれば景気の拡大を示すが、GDPの約13%を占める製造業は、電力不足と低い景況感の影響を受け10年前からほぼ同水準に留まっている。

南アフリカは5月1日から警戒レベル4に移行したが、それ以前の5週間は厳格なレベル5のロックダウンが行われたため、重要なサービスを除くほぼ全ての経済活動が停止していた。部分的緩和により、産業活動指数は4月の5.1から43.2に上昇し、新規受注指数も8.9から41.2に上昇した。Absaは経済活動による上昇ではなく、ロックダウンにより発生した生産の遅れを反映していると述べている

南アフリカは6月1日には、警戒レベル3に移行し、ロックダウンをさらに緩和した。これにより、製鉄所、工場、すべての小売店を含むほとんどのビジネスが再開可能となったものの、サプライチェーンの混乱が続くため、工場出荷はロックダウン前のレベルに戻る可能性は低いという。さらに経済活動の増加により停電が再開し、回復に影響を与える可能性がある。事業期待指数は47.5と2019年7月以降の最高値となったものの、50未満に留まった。

南アフリカ財務省は、2020年のGDP成長率は、ロックダウンと経済回復にかかる期間次第でマイナス16.1%まで縮小する可能性があるとしている。

(5) 【南アフリカ】フォードが南アフリカで新型車両の生産開始を準備、現地部品メーカーMetairが大型契約を獲得(6/5)

<https://www.engineeringnews.co.za/article/metair-clinches-multibillion-rand-contracts-as-ford-expands-in-south-africa-2020-06-05>

南アフリカの自動車部品メーカーMetairは、米大手自動車メーカー、フォードの南アフリカ子会社 Ford Motor Company of Southern Africa (FMCSA) から数十億ランドとなる複数の契約を獲得した。FMCSAは、南アフリカにおいて、国内および輸出市場向けとなる複数の新型車両の生産開始の準備を進めている。新規投資と生産拡大プログラムの一貫で、フォードはこれにより南アフリカにおける需要に対応する。

Metairはエネルギー貯蔵ソリューションと自動車部品の製造、販売、小売を行っている。今回のFMCSAへの供給開始のために必要な土地や設備への新規投資額は9億ランド(58億円)を超えるため、同社は総額で約13億ランド(84億円)の調達が必要となる。クワズールナタール州北部に新しい生産工場を建設し、FMCSAの生産工場があるプレトリアにも新しい物流施設を設立する。

フォードに幅広いタイプのワイヤーハーネスを供給している Metair の子会社 Hesto Harnesses や、同じく Metair 子会社でワイヤーやプラスチック製品、クロムメッキ部品、ヘッドライト、テールライトといった部品を供給してきた Unitrade や Automould、Lumotech も今回の投資による恩恵を受ける。

南アフリカの貿易産業競争大臣は、コロナウイルス感染拡大に起因する世界的な貿易構造の変化によりローカライズへのシフトが加速する中、今回の Metair の受注は国際的な自動車産業において大きな前進を遂げた現地企業の好例と評し、引き続き技術移転と長期的な雇用創出を進める産業への支援を継続するとしている。

※1 ランド=6.5 円 (モーニングスター、6/6)

(6) 【エジプト】サムスン電子がエジプトに 8,400 万ドルを投資へ、パソコンや TV スクリーンの生産・輸出拠点に (6/1)

<https://www.dailynewssegypt.com/2020/06/03/samsung-to-invest-84m-over-5-years-in-egyptian-market/>

韓国サムスン電子のエジプト子会社 Samusng Egypt は、今後 5 年間で 8,400 万ドルをエジプト市場に投資する。うち 2,300 万ドルは国内、アフリカおよび欧州向けのコンピュータースクリーン工場の製造ライン新設に用い、エジプトをテレビやパソコンスクリーンの生産および輸出拠点とする方針。エジプト政府は既存プロジェクトの拡大に対する投資にインセンティブを提供している。

Beni Suef にあるこの工場は、中東、アフリカ、南ヨーロッパにおけるサムソン電子最大の工場であり、生産したテレビスクリーンの 85%を国外 36 カ国に輸出している。これまで総額 2 億 7,000 万ドルが投資され、テレビの LED および QLED ディスプレイの製造において最新の技術を導入しており、エジプト初となる最新の QLED の 8K テレビも製造する予定である。

(7) 【ナイジェリア】Harambe Entrepreneur Alliance が 100 万ドルを調達し、10 万ドルをナイジェリアのバイク配車アプリ Max.ng と農業プラットフォーム Releaf Group に出資 (6/3)

<https://www.bloomberg.com/news/articles/2020-06-03/cisco-backed-harambe-raises-fund-to-support-african-tech-firms>

米 Cisco Systems や南アフリカの起業家 Jonathan Oppenheimer の財団が出資し、アフリカの若手起業家を支援し育成する Harambe Entrepreneur Alliance は、100 万ドルを調達し、約 10 万ドルをナイジェリアのバイク配車アプリ Max.ng に、同じく約 10 万ドルをナイジェリアの農産物配送の Releaf Group に出資した。コロナ禍においてテックスタートアップ支援し、ベンチャーキャピタ

ルの投資再開に弾みをつける意図がある。

Harambe Entrepreneur Alliance は 2008 年に米国で設立された。これまでマーク・ザッカーバーグ、ジャック・マー、ビル・ゲイツなど、著名な一族、個人、国際企業から総額 5 億ドル以上を調達している。

コロナウイルスの感染拡大により、投資家やファンドの姿勢は慎重になっており、世界における 2020 年第一四半期のベンチャーキャピタルの投資件数は前年比 23%減となっている。アフリカも例外ではなく、Harambe Entrepreneur Alliance によると、同アライアンスのメンバーのうち半分は、今後 3 カ月で財務上の影響が深刻化すると考えており、300 社から資金需要が生じる可能性があると考えているという。

(8) 【エジプト】UAE の Gulf Capital が画像診断会社 Metamed を競合の Ray Lab に売却、
一大画像診断プラットフォームが誕生 (6/2)

<https://www.laingbuissonnews.com/healthcare-markets-international-content/inbusiness-healthcare-markets-international-content/uae-gulf-capital-sells-metamed-to-ray-lab/>

アラブ首長国連邦のオルタナティブ資産運用会社 Gulf Capital が、中東北アフリカ地域最大の画像診断会社 Metamed を、競合となる Ray Lab に売却した。買取側の Ray Lab には、Mediterrania Capital Partners を始めとする国際的なコンソーシアムが出資している。中東北アフリカエリアにおけるプライベートエクイティの数少ない売却事例となる。売却により、この地域で最大の画像診断プラットフォームが構築される。

Metamed はエジプトやサウジアラビア、ヨルダンに 30 の診断センターを所有しており、臨床および解剖病理学、核医学検査、女性向けヘルスケアサービスも提供している。エジプトでの売上は、立ち上げ当初から 5 倍、利益は 4.3 倍に成長し、サウジアラビアでの売上は 2 倍、利益は 2.5 倍に成長したという。

(9) 【モロッコ】モロッコ通信会社 Maroc Telecom がモバイル送金アプリ MT Cash をリリース (6/1)

<https://www.moroccoworldnews.com/2020/06/304471/maroc-telecom-launches-mobile-money-transfer-application-mt-cash/>

モロッコの通信会社 Maroc Telecom (IAM) は、モバイル送金アプリ MT Cash をリリースした。同アプリは銀行のモバイルアプリサービスと同様に、購入商品や請求書の支払い、携帯電話のエアタイムの支払い、モロッコ国内における送金など様々な金融サービスを提供する。IAM 契約者以

外でも、アプリをダウンロードすれば誰でも使用できる。利用者は全国の認定代理店を通じて MT Cash アカウントに入金できる。

モロッコでは、モバイル送金サービス進出が加速しており、2 月には Orange Maroc が Orange Money という同様のアプリケーションを立ち上げている。モロッコで 3 番目に大きい通信会社 Inwi は 2019 年からモバイル送金サービス Inwi Money を提供している。ただ Orange Money と Inwi Money はそれぞれの契約者のみが使用できる。

(10)【ナイジェリア】アフリカの e コマース会社 Jumia が、Jumia Prime 会員拡大を目指し米マスターカードやナイジェリア映画専用の有料配信サービス IrokoTv と提携 (6/5)

<https://www.techinafrica.com/17457-2/>

アフリカ最大の e コマース会社 Jumia は、米マスターカードと有料テレビ IrokoTv と提携する。Jumia でマスターカードを使用して生活必需品を購入した顧客に対し、最大 10%の割引を提供する。Jumia Prime の会員となれば、ナイジェリア映画専門の有料配信サービス IrokoTv に無料でアクセスでき、12 カ月の Jumia Prime メンバーシップを購入したマスターカード保有者には 25%のキャッシュバックが提供される。

Jumia はコロナ禍の下、Jumia Prime の加入者数を増やそうとしている。Jumia Prime は 2019 年に開始され、現在はナイジェリアのアブジャ、ラゴス、イバダンの 3 都市で利用可能である。頻繁に買い物する顧客のために設計されており、送料が無料になるだけでなく、無料の食品配達や様々なデジタルサービスへの無制限アクセスなどの特典がある。

(11)【アフリカ全般】サブサハラアフリカの観光・ホスピタリティ事業への投資に特化した Kasada Capital Management によるファンドが 5 億ドルの出資を得て調達を完了 (5/21)

<https://www.leadersleague.com/en/news/kasada-raises-funds-dedicated-to-hospitality-sector-in-africa>

サブサハラアフリカでホスピタリティ分野への投資に特化した投資会社 Kasada Capital Management が、同社初のファンドに 5 億ドルを超える出資コミットメントを得たことを発表した。同ファンドに対しては、2018 年 7 月に Katara Hospitality と Accor がそれぞれ 3 億 5,000 万ドルと 1 億 5,000 万ドルを投資すると明らかにしていた。

サブサハラのホスピタリティ市場は、成長する経済と新興中流階級により、高い成長が期待できるにも関わらず、まだ十分に開拓されていない有望な市場だという。Kasada Capital Management は、AccorHotels Middle East & Africa の元 CEO と、Helios Investment Partners の元パートナ

一により運営されており、アフリカ最大のホスピタリティファンドを目指している。

(12)【ザンビア】ザンビアの種苗メーカーZamseed が農業投資会社、英 SilverStreet Capital から 9,100 万ザンビアクワチャ調達(6/4)

<https://africaincmag.com/2020/06/04/zambian-seed-producer-zamseed-clinches-us5m-investment-from-silverstreet-capital/>

ザンビアの種苗メーカーZamseed は、投資会社の英 SilverStreet Capital から 9,100 万ザンビアクワチャ(5,500 万円)を調達した。首都ルサカにある加工工場の改良に資金が使用される予定である。

Zamseed は、穀物、豆、野菜など、多様な種子を取り扱っており、干ばつや耐病性、収量向上などの特性を持つ小規模農家のニーズに特に焦点を当てている。

この投資により、SilverStreet の Zamseed への投資と株式購入は、2018 年以降、合計 5 億 6,000 万ザンビア・クワチャ(34 億円)を超える。この安定した長期資本によって、Zamseed の売上高は 40%以上増加している。SilverStreet Capital は農業分野に特化して投資しており、ザンビアでは、Zamseed の他に 2 つの事業に投資している。

※1 ザンビアクワチャ=6.1 円(モーニングスター、6/5)

(13)【ウガンダ】ウガンダの種子メーカーNASECO が投資ファンド Pearl Capital Partners から 46 億ウガンダシリングを調達(5/29)

<https://africaincmag.com/2020/05/29/ugandan-seed-producer-naseco-clinches-us1-2m-investment-from-pearl-capital-partners/>

ウガンダの種子メーカーNASECO が、農業に特化した投資ファンド Pearl Capital Partners から Yield Uganda Investment Fund を通じて 46 億ウガンダシリング(1 億 3,000 万円)を調達した。調達資金は生産能力と市場開発の改善に使用される。また Pearl Capital は NASECO にビジネス開発サポートを提供し事業の技術面とガバナンス面の両方を強化し、持続可能で長期的な成長と将来的な自立を支援する。

Yield Uganda Investment Fund は 2,000 万ユーロ規模の農業社会インパクト投資ファンドで、EU が International Fund for Agriculture Development、Soros Economic Development Fund が Open Society Foundations を通じて資金供給し、FCA Investments と National Social Security Fund Uganda が資金供給している。同ファンドは EU がウガンダの農業、貿易および工業化の発展を促進するために資本を誘致することを目的として European External Investment

Plan を通じて活性化されている。

※1 ウガンダシリング=0.029 円 (モーニングスター、6/6)

(14)【エチオピア】エチオピアのフードデリバリースタートアップ Deliver Addis が Impact Angel Network および RENEW から追加投資を調達(5/25)

<https://www.techinafrica.com/17245-2/>

エチオピアのフードデリバリースタートアップ Deliver Addis が、RENEW と Impact Angel Network から追加投資を調達した。Deliver Addis は同じ投資家からすでに 2 度資金調達を行っており、今回で 3 度目となる。

2015 年に設立された Deliver Addis は、オンラインフードデリバリープラットフォームとしてスタートしたが、現在のコロナウイルス感染拡大によるオンラインショッピングへの需要へ対応すべく、食料品を購入できるマーケットプレイスを開始した。現在、食事を 100 のレストランから、また花、食料品およびその他の消費財を提供している。

RENEW は、Impact Angel Network の投資部門。中小企業に対し 20 万ドルから 300 万ドルの範囲で投資を行っており、これまでに 12 社への 14 件の投資を行っている。

(15)【エチオピア】エチオピアの大手飲料メーカー Abebe Dinku Water & Non-Alcoholic Beverages がサウジアラビアの Al Naba Jeldi Water Company と今後 20 年間のボトル入り飲料水輸出契約を締結(5/31)

<https://addisfortune.news/top-water-seals-20-year-saudi-arabian-deal/>

Top Water で知られるエチオピアの大手飲料メーカー Abebe Dinku Water & Non-Alcoholic Beverages が、サウジアラビアの同業 Al Naba Jeldi Water Company とボトル入り飲料水輸出の 20 年契約を締結した。現在第一バッチの出荷準備中で、サウジアラビアがロックダウンを解除次第すぐに出荷開始する。合意では第一バッチで 350 ミリリットルの飲料水 1,000 本と 600 ミリリットルの飲料水 6,668 本を輸出することになっており、40 フィートのコンテナ 10 個分で 100 万ドル規模相当としている。

Abebe Dinku Water & Non-Alcoholic Beverages の工場では、1 時間あたり 126,000 本のボトル入り飲料水を生産する。今回のサウジアラビアへの輸出は国内販売に比べるとメリットは少ないが、外国為替を得られ付加価値税 (VAT) と消費税も免除される利点があると同社は述べている。またオマーンからも発注を受け取っており、見積請求書を送ったばかりだという。

現在エチオピアには 97 近くの飲料メーカーがあり、数か月前に Ethiopian Bottled Water, Soft

Drink, Fruit & Vegetable Processing Manufacturing Industries Association が飲料メーカーの要請に応じて外務省のビジネス外交部に、近隣へのボトル入り飲料水の輸出を促進するための書簡を送っていた。

※1 ブル=3.1 円(モーニングスター、3/23)

(16)【南アフリカ】南ア e ヘルススタートアップ BusyMed がベンチャーキャピタル LionPride Agility Fund から資金調達(6/2)

<https://disrupt-africa.com/2020/06/sa-e-health-startup-busymed-raises-growth-capital-from-local-vc-lionpride/>

南アフリカのeヘルススタートアップBusyMedが、ベンチャーキャピタルLionPride Agility Fundから資金調達した。

BusyMed は、オンラインプラットフォームで消費者と薬局とを直接繋ぎ、オンラインでのカウンセリング、製品や医薬品の購入および自宅への配達を提供している。薬局はリアルタイムの在庫情報の提供、売れ筋商品のパフォーマンスデータへのアクセス、在庫管理の効率化を行え、既存の薬局やサードパーティの物流ソリューションの活用を可能にする。

(17)【ルワンダ、南アフリカ】南アの低価格ヘルスケアサービスの RH Bophelo がルワンダ証券取引所へ重複上場(6/1)

<https://www.theeastafrican.co.ke/business/Healthcare-provider-lists-on-Kigali/2560-5568598-f9wxmhZ/index.html>

ヨハネスブルグ証券取引所に上場する南アフリカの低価格ヘルスケアサービス RH Bophelo が、ルワンダ証券取引所へ重複上場した。上場により東アフリカ地域への参入を狙う。

RH Bophelo は南アフリカで病院を9カ所、小規模独立型病院を6カ所経営している。

現在ルワンダ証券取引所には8社が上場している。RH Bophelo は新規公開株式による資本調達はせず、市場で事業を確立させてから行う予定だと述べている。主要市場は引き続きヨハネスブルグ証券取引所であり、東アフリカにおいてより多くの投資家に容易に普通株式を取得してもらうための試みであるとしている。

(18)【ウガンダ】ウガンダのフィンテックスタートアップ Eversend がエクイティクラウドファンディング

プラットフォーム Seedrs で 63 万 4,000 ユーロを調達(6/2)

<https://disrupt-africa.com/2020/06/ugandan-fintech-startup-ever-send-raises-706k-in-target-beating-crowdfunding-campaign/>

ウガンダのフィンテックスタートアップ Eversend が、エクイティクラウドファンディングプラットフォームを展開する英 Seedrs でクラウドファンディングキャンペーンを実施し、63 万 4,000 ユーロを調達した。

2017年に創設された Eversend は、多国籍通貨の電子ウォレットと外貨両替サービスを提供している。個人ローンや貯蓄、グループ貯蓄、小売決済および投資サービスを手掛けることを計画している。現在 4 万人の顧客を抱えており、顧客数は月々約 30%成長しているという。

Eversend は 7.67%のエクイティをリターンとし 55 万ユーロ調達を目標に Seedrs でキャンペーンを開始したが、数週間ですでに目標達成率が 115%となった。現在は 8.74%のエクイティリターンで 63 万 4,000 ユーロを確保している。今回の調達資金は製品開発、ユーザー獲得、規制遵守のために使用される予定。今後はナイジェリア、フランス語圏アフリカ、ヨーロッパへの事業拡大も計画している。

(19)【アフリカ全般】衛星通信プロバイダの Gilat Telecom が VSAT サービスのアフリカ全土への提供を開始(6/5)

<https://www.commsmea.com/business/trends/21971-gilat-telecom-expands-vsat-services-across-africa>

衛星および光ファイバーを専門とする通信プロバイダ Gilat Telecom は、同社の通信衛星を介する双方向通信システムである VSAT サービスがアフリカの全ての国で利用できるようになったことを発表した。

Gilat Telecom は、20 年以上にわたってアフリカに衛星接続を提供してきており、東アフリカとコンゴ民主共和国に強固な基盤を持っている。アフリカ大陸の NGO やインターネットサービスプロバイダ、通信会社に高速衛星や VSAT、ファイバー接続サービスを提供している。

アフリカ全土で通信需要が高まる中、Gilat Telecom は VSAT 技術に投資している。セルフコントロールポータルにより、顧客組織がネットワークを完全に制御し、通信サービスの運営システム、利用料の課金請求などすべてのサービスを可視化し、同じダッシュボードに表示できる管理用ポータルの提供も開始している。

(20)【南アフリカ】南アフリカの金融会社 Finbond Group が短中期的戦略として南アフリカ事業

の売却を検討(6/2)

<https://businesstech.co.za/news/banking/403077/finbond-group-plans-to-sell-its-south-african-operation-and-delist-from-the-jse/>

南アフリカの金融会社 Finbond Group は、短・中期戦略目標として、南アフリカ事業を売却し、北米とヨーロッパに焦点を当てることを計画している。ヨハネスブルグ証券取引所からも上場を廃止し、北米の証券取引所に再上場する。同グループは、2020年2月期の年次決算報告書で、弱体化している南アフリカ経済はすべての所得水準の消費者に打撃を与えていると述べている。

一方で同じ決算報告書で、同社は税引前営業利益が78%増加し、南アフリカの社会保障機構(SASSA)からの発注を失ったにも関わらず、売上高は1.7%増の26億2,000万ランド(160億円)と報告している。ただし、同社のEBITDAの内訳は、56.9%が北米事業、43.1%は南アフリカ事業となっているものの、当期利益の82.5%は北米事業から生じている。

Finbond は南アフリカで430の支店がある。決算対象期間中の南アフリカでの平均貸出額は1,932ランド(1万2,000円)で、平均返済期間は3.2カ月だった。貸出総額は15億5,000万ランド(99億円)で、顧客からの返済は23億1,000万ランド(140億円)となっている。

コロナウイルス感染拡大によるロックダウンの影響を受けた4月における南アフリカの取引件数は約70%減少した。同月の北米の減少幅は約50%だった。

※1ランド=6.4円(モーニングスター、6/4)

週刊アフリカビジネス

2020年6月8日 第499号

発行者:アフリカビジネスパートナーズ

問合せメールアドレス:weekly@abp.co.jp

Website:<https://abp.co.jp>